

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本競技会は2024年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則・競技会における広告及び展示物に関する規程ならびに本競技会申し合わせ事項により実施する。なお、本競技会はWRk指定競技会として実施する。ただし、成年競歩競技・少年B円盤投・リレー競技は除く。

2. 練習会場等について

- (1) 別掲「練習会場使用日程」に基づき練習することができる。なお、練習にあたっては、競技役員の指示に従うこと。ただし、実施種目の状況により日程等変更する場合がある。
- (2) 練習は、指定された場所・時間で行い、事故防止には万全を期すこと。なお、練習中に発生した疾病・傷害等の応急処置は主催者において行うが、以後の責任は負わない。
- (3) 練習に必要な用器具は主催者において準備するが、投てき用具は持参したものを使用すること。なお、不慮の事故・盗難等により投てき用具がない場合は、投てき練習会場係に「投てき用具借用届」(TICに用意)を提出のうえ借用すること。
- (4) 荷物などは、個人が責任を持ち管理すること。
- (5) 練習会場の入退場時は、必ずADカードを明示すること。
- (6) 各練習会場での練習の順番待ちは当該選手のみとし、それ以外は認めない。
- (7) チューブやメディシングボール等の補助道具を使つての練習は禁止とする。また、ミニハードルやラダー等の練習はトラック上では禁止とする。

3. 招集について

- (1) 招集所は、メインスタンド下(100mスタート外側)に設置する。
- (2) 種目別招集開始時刻・完了時刻は、プログラム記載の競技日程のとおりとする。
- (3) 招集の方法
 - ①競技者は、招集所で競技役員の点呼を受けること。その際、アスリートビブス・競技用靴・衣類・持ち物など商標の点検を受けること。なお、代理人による点呼は認めない。
 - ②2種目同時に出場する競技者は、第1種目の招集完了時刻30分前までに所定の「2種目同時出場届」(TICに用意)に記入し、TICに提出すること。なお、当該競技者でトラック競技が先に開始される場合は、トラック競技終了後ただちにフィールド種目の競技場所へ移動し、担当競技役員に申し出ること。また、フィールド競技の途中でトラック競技に出場する競技者は、競技開始前に担当競技役員にその旨を申し出ること。
 - ③各種目を欠場する場合は、招集完了時刻30分前までに所定の「欠場届」(TICに用意)をTICに提出すること。招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を欠場したものとする。
 - ④TR6.3.2により競技区域内に持ち込みが禁止されている携帯電話・電子機器・通信機能のある腕時計等を招集所に持ち込まないこと。もし、持ち込んでしまった場合は、必ず招集所の係員に預けること。預かった持ち物の返却はTICで行う。
- (4) 招集所は当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。

4. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、主催者が4枚(胸・背・トレーニングシャツ・手荷物用)配布する。
- (2) 着用については、TR5を厳守すること。
- (3) トラック競技に出場する競技者は、招集時に配布する写真判定用の腰ナンバー標識(2枚)を左右につけること。
- (4) リレー競技の腰ナンバー標識については、4×100mRは第4走者のみ左右につけること。4×400mRは第2、3、4走者共に左右につけること。
- (5) 競歩種目については、都道府県ナンバーと同じ番号の腰ナンバー標識を用いる。

5. 競技場への入退場について

- (1) 競技場内への入退場は、すべて競技役員の指示・誘導による。
- (2) 競技終了後は、競技役員の指示に従いミックスゾーン（第1ゲートに設置）を通り退場すること。

6. レーン順・試技順の抽選並びに番組編成について

- (1) トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順は、主催者が抽選で決定し、プログラム記載の通りとする。
- (2) トラック競技の準決勝以降の組み合わせ及びレーン順は主催者が決定し、佐賀陸協 HP 等 WEB で公開する。
- (3) トラック競技のタイムによる次ラウンド進出者の決定について、最終枠に同記録があるときの処置は、写真判定主任が0.001秒単位の時間を判定して競技者を決定する。【TR21.5】
 - ① 空きレーンがある場合は対象者全員を次のラウンドへ進出させる。
 - ② 空きレーンがない場合は同成績者または代理人によって抽選する。なお、アナウンス後、15分を経過しても当該競技者あるいは代理人がTICに来なかった場合は、主催者が代行する。
 - ③ 800mについては空きレーンがない場合でも8レーン及び2レーンに2名を入れて実施する。

7. 競技及び競技方法について

- (1) トラック競技について
 - ① トラック競技の計時は、すべて写真判定装置を使用する。
 - ② 短距離種目では競技者の安全のため、フィニッシュラインを通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
 - ③ TR16により、不正スタートと判断された競技者は失格とする。
 - ④ スタート時の不適切行為については警告を与える場合がある。
 - ⑤ 競歩種目の警告電光掲示盤は、都道府県ナンバーで表示する。
- (2) リレー競技について
 - ① リレーに出場するチームは、所定の「リレーオーダー用紙」（TICに用意）に記入のうえ、各ラウンドとも出場する該当組の招集完了時刻の1時間前までにTICに提出すること。
ただし、オーダー提出後の変更については、主催者の指定する医務員の許可がある場合のみ認める。その場合は、「リレーオーダー変更届」をTICに提出すること。変更する箇所については、変更が認められた走順のみとする。「リレーオーダー変更届」はTICおよび競技場医務室に用意する。
 - ② リレー競技において使用するマーカーは主催者が用意する。マーカーは招集時に競技者係より受け取り、1カ所のみ使用することができる。それ以外のマーカーについては使用できない。除去については使用したチームが必ず行うこと。
 - ③ 男女混合4×400mリレーのオーダーは男女2名ずつの編成で、男女とも少年Aもしくは少年Bから各1名を必ず選出し、残りの男女各1名は成年、少年A、少年Bのいずれかの種別から選出する。
走順は男・女・男・女の順として種別については規制しない。
 - ④ 4×400mRの第3・4走者のバトンの受け渡しは、コーナートップ通過順に内側より並んで行うこと。
コーナートップの地点は、200mスタート地点内側に設置された黄旗で示される。
- (3) フィールド競技について
 - ① フィールド競技（走高跳を除く）の計測は、光波距離測定器を使用する。
 - ② フィールド競技の競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。フィールド競技の練習は原則2回とするが、進行状況等により回数の増減がある場合もある。棒高跳の練習はゴムバーを使用する。
ただし、走幅跳、三段跳の公式練習は実施しない。競技開始10分前までの自由練習とする。
 - ③ 跳躍及びやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカーを2つ置くことができる。また、砲丸投・円盤投・ハンマー投は、サークルの直後に主催者が用意したマーカーを1つ置くことができる。使用することができるマーカーは、競技役員が現地で渡す。
 - ④ 棒高跳の競技者は、支柱の位置をあらかじめ所定の「アップライト申告書」（TICに用意）に記入し、招集時に競技者係に提出すること。その後、位置の変更希望がある場合は、直接担当競技役員に申し出ること。
 - ⑤ 三段跳の踏み切り板は、少年女子共通三段跳は10m、成年男子三段跳は13mの位置に設置する。

⑥跳躍競技において競技開始後は、天候風速によるピットの向きの変更は原則行わない。

⑦走高跳、棒高跳の決勝のバーの上げ方は、優勝が決まって最後の一人になるまで次のとおりとする。

ただし、残っている競技者が2人以上でも全員の同意があれば、日本記録を超える高さにバーを上げることができる。

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	以後
走高跳	成年女子	1m60・76	1m65	1m70	1m73	1m76	1m79	1m82	1m85	1m88	3cm
	少年男子共通	1m90・2m06	1m95	2m00	2m03	2m06	2m09	2m12	2m15	2m18	3cm
	少年女子共通	1m55・71	1m60	1m65	1m68	1m71	1m74	1m77	1m80	1m83	3cm
棒高跳	成年女子	3m40・70・90	3m40	3m60	3m70	3m80	3m90	3m95	4m00	4m05	5cm
	少年男子A	4m40・60・80	4m40	4m60	4m70	4m80	4m90	4m95	5m00	5m05	5cm

(4) 抗議は、TR8 に則り行われる。定められた時間（大型スクリーン表示時刻を基準とし、同一日に次のラウンドがある場合は15分以内に、それ以外は30分以内）内に、競技者自身または代理人が、TICの担当総務員に口頭で申し出ること。審判長が再度検証し、担当総務員を通じて裁定を伝える。この裁定に不服がある場合は、「上訴申立書」（TICに用意）に記入のうえ預託金1万円を添え、審判長裁定から上記同様の定められた時間内にTICに申し出ること。「上訴申立書」による抗議裁定の結果は担当総務員を通じて伝える。

(5) 助力について

①助言は、競技運営ならびに他の競技者の競技の妨げにならない範囲で、コーチングエリアに限り認める。また、そのために競技者が競技場所を離れる場合は、必ず競技役員に申し出ること。

②TR6.3の記載事項については助力とみなし許可しない。

(6) 警告について

競技者にあるまじき行為、下品な行為をした競技者や違反行為があった競技者には当該審判長から警告が与えられ、場合によっては、競技会から除外される場合がある。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされる。

8. 競技用具について

競技に使用する用具は、棒高跳用ポール以外はすべて主催者が用意したものとする。ただし、投てき用具リストに複数ないもの（少年B円盤以外はJAAF検定品かつWA認証品に限る）は、持ち込みを一人2つまで認める。その際、希望者は前日12:00～16:00、当日招集完了時刻の3時間前～2時間前（招集完了時刻が10時00分以前の競技は前日12:00～16:00）までに、招集所付近に設置するTICに持ち込む投てき用具とともに「投てき用具検査申請書」を提出すること。

また、受け付けた投てき用具については「投てき用具預り証」を発行する。そして、その種目の競技終了後にTICで「投てき用具預り証」を確認のうえ返却する。

なお、検査に合格した投てき用具については一括借り上げし、参加競技者間で共有できるものとする。

競技場備え付けの投てき用具については、「投てき用具一覧」を参照のこと。

9. 競技用靴について

競技場で使用できるスパイクピンの数は11本以内、長さは9mm以内とする。ただし、やり投・走高跳の場合は12mm以内とする。また、スパイクピンは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するようにつくられていなければならない。

靴底の厚さは、800m未満の種目は20mm以内、800m以上の種目は25mm以内とする。競歩種目は40mm以内とする。フィールド種目では三段跳を除く種目は20mm以内、三段跳は25mm以内とする。靴底の厚さについてはTR5.2を適用する。招集所で検査は行わないが、競技中および競技終了後に競技役員や審判長が疑義を抱いた場合は検査を実施し、規程違反の場合は失格となる。

10. ドーピング検査について

- (1) 検査は、日本ドーピング防止規程及び関連規則に基づき実施する。
- (2) ドーピング検査の対象に選定された競技者は、ドーピングコントロールオフィサー（DCO）、シャペロン、競技役員の指示に従って検査を受けること。

11. 種目別表彰について

- (1) 各種目 1～8 位までの入賞者（リレーは 1 チーム 4 名）を表彰する。
- (2) 入賞者は、ミックスゾーンを出た後、競技役員の誘導によりインタビュールームを経由して入賞者待機所まで移動すること。
- (3) 表彰時は、各都道府県のチームジャージまたはチーム T シャツ等を着用すること。
- (4) 入賞者待機所においても、携帯電話・電子機器・通信機能のある腕時計など類似機器の持ち込みおよび使用は原則認められない。

12. 総合表彰式について

- (1) 総合表彰式は、10 月 15 日（火）全競技終了後、11 時 30 分からメイン競技場で行う。
- (2) 男女総合成績第 8 位までに入賞の各都道府県代表 1 名（優勝チームは 2 名）、女子総合成績第 8 位までに入賞の各都道府県代表 1 名（優勝チームも 1 名）は、11 時 15 分までにメインスタンド 1 階表彰者待機所に集合すること。

13 一般連絡・注意事項

- (1) 「競技会における広告及び展示物に関する規程」に従い、違反に対しては主催者において処置する。表彰を受ける際もこれが適用される。
- (2) 更衣室は、補助競技場内に男女別に設置する。更衣の際の荷物は各自で管理すること。万一の場合があっても主催者において責任は負わない。
- (3) 記録はその都度、佐賀陸協 Web サイト内速報ページで発表する。
- (4) 応援は競技運営に支障のないように行うこと。特にメインスタンド、各フィールド種目実施場所付近での集団応援は禁止する。
- (5) スタンドの手すりにもたれての応援や観戦はしないこと。また、通路に立っての応援や観戦もしないこと。
- (6) スタンド座席にモノやテープ等を置いての場所取りは禁止する。
- (7) 車椅子席を本来の目的以外に使用することを禁止する。
- (8) 応急処置を要する場合やその他健康上の問題が生じた場合は、競技役員に申し出て救護室を利用することができる。
- (9) 競技場内での疾病、傷害などの応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (10) 競技会期間中の貴重品の管理は、各自が責任をもって行うこと。
- (11) 競技者等の遺失物は、SAGA スタジアム正面入口前の受付において、10 月 15 日（火）午前 11 時 30 分まで管理する。
- (12) 棒高跳のポールは輸送取り扱いについては、下記のとおりとする。
 - ① 送り主が宅配便等により下記送り先に期日指定で発送のこと。
 - ② **送り先** 〒849-0923 佐賀県佐賀市日の出 2 丁目 1 番 10 号
SAGA サンライズパーク SAGA スタジアム 管理事務所気付
TEL 0952-30-5311
「SAGA2024 国スポ佐賀市実行委員会」を記入すること。
指定日配達 10 月 7 日（月）9:00～15:00 ※必ずハードケースにいれて搬送すること
問い合わせ先 〒840-0852 佐賀県佐賀市中折町 10-1 8
一般財団法人 佐賀陸上競技協会
メールアドレス sagarikujoyo@owa.bbq.jp
 - ③ 送付された棒高跳のポールは SAGA スタジアムウエイトトレーニング室（ポール保管場所）で保管する。使用する際は TIC に申し出ること。
 - ④ 競技終了後は、ポール置き場西側テント（招集所付近テント）にポール宅配受付窓口を設けるので、各自で返送手続きを取ること。

但し、12・13日（土・日）13～16時までに行うこと。

- (13) 記録証の交付を希望する競技者は「記録証交付願」（TICに用意）に必要事項を記入し、記録証代金1000円（郵送料込）を添えて申し込むこと。
- (14) 競技者及び監督・コーチには、競技会申し合わせによりADカードを発行する。競技場内を移動する場合は、必ずADカードが確認できるように携帯すること。
- (15) トレーナーステーションおよびウエイトトレーニング場は補助競技場に設置する。
- (16) 競技関係書類の提出先および抗議申し立ては次のとおりとする。

	提出書類	提出先	提出時間
1	2種目同時出場届	TIC	第1種目の招集完了時刻30分前まで
2	欠場届	TIC	各種目の招集完了時刻30分前まで
3	アップライト申告書	競技者係	招集時に競技者係へ提出
4	リレーオーダー用紙	TIC	各種目出場該当組の招集完了時刻の1時間前まで
5	リレーオーダー変更届	TIC	医務員の署名捺印後、招集完了時刻まで
6	抗議申し立て（口頭）	TIC	正式記録発表後（予・準）15分まで 正式記録発表後（決）30分まで
7	上訴申立書（文書） （預託金1万円）	TIC	審判長公式裁定後（予・準）15分まで 審判長公式裁定後（決）30分まで
8	投てき用具検査申請書	TIC	前日12:00～16:00 当日招集完了時刻の3時間前～2時間前
9	記録証交付願	TIC	競技終了後随時（18時まで）
10	プログラム訂正届	監督会議会場	10月10日は監督会議終了30分後まで
		TIC	10月11日～15日は9時30分まで

- (17) 横断幕の設置については、各スタンド最上部フェンスのみに、各都道府県1枚のみ設置できる。
なお、のぼり旗については設置できない。
- (18) 傘の使用については、競技場及び練習会場では雨天時以外は傘の使用を禁止する。メインスタンド（中段より下）の日傘の使用は禁止する。
- (19) WRK・WA 競技規則に関する補足
＜WA 規則が適用される項目＞
投てき競技は、JAAF 検定品かつ WA 認証品の投てき物のみ使用できる。（TR32.1）（2）同時申込を含めて、試技時間に競技者が不在の場合はパス扱い（-）とする。